

事例紹介

計画的な太陽光発電設備の導入で補助金を有効活用

事業所名称	株式会社 秦野精密	施設概要	パネル：71.25 kW パワコン：50 kW
施設名	薩摩工場	電力用途	平常時：工場内の電力の一部 停電時：工場内の電力の一部
所在地	薩摩郡さつま町求名	発電開始	令和5年12月

取組のきっかけ	経費削減や停電時など非常時の対応、CO2削減を期待して取り組んだ。
事業の取組方法	自家消費（工場）用に太陽光発電設備を整備した。 太陽光パネルは消費施設の屋上に設置している。 売電契約はしていない。
事業の成果	一期工事（令和3年度補助事業）と二期工事（令和5年度）により、工場の電気削減量が時期によっては2割を超え、電気料金の削減となっている。工場屋根のほとんどに太陽光パネルが敷き詰められたことにより、夏場の輻射熱を抑えられて室温上昇が抑えられているという効果が実感できる。
課題	特になし。
今後の展開	特になし。

年間費用効果	年間CO2削減量
約270万円 (電気料金の変化から算定)	50.8トン

注目ポイント

- ・2期に分けて計画的に設備を導入することで、補助金を2回受けて効果的に設備導入している。
- ・パネル1kWあたりの発電効率が約1750kWh/kWあり、高効率となっている。



↑
太陽光パネル設置状況
(秦野精密HPより引用)
←室内モニター